

2023 年度

専攻科学生募集要項
専攻科入学案内

(出願書類添付)

推薦選抜	出願期間	2022年 4月 18日(月)～4月 20日(水)
	合格者発表日	2022年 5月 12日(木)
一般選抜	出願期間	2022年 5月 16日(月)～5月 18日(水)
	検査日	2022年 6月 4日(土)
	合格者発表日	2022年 6月 9日(木)
	入学確約書提出期限	2022年 10月 28日(金)
社会人特別選抜	出願期間	2022年 5月 16日(月)～5月 18日(水)
	検査日	2022年 6月 4日(土)
	合格者発表日	2022年 6月 9日(木)
	入学確約書提出期限	2022年 6月 24日(金)
二次入学者選抜 <small>(募集定員に満たない場合にのみ実施する)</small>	検査日	2023年 3月下旬を予定
	二次入学者選抜の実施に関する詳細情報は、 2022年 11月中旬以降に本校のホームページに掲載する	

大阪公立大学工業高等専門学校

〒572-8572 大阪府寝屋川市幸町 26 番 12 号

電話 (072)821-6401 FAX (072)821-0134

ホームページ <https://www.ct.omu.ac.jp/>

目 次

大阪公立大学工業高等専門学校 専攻科学生募集要項

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集定員	1
3	選抜区分と選抜人数	2
4	出願に関する注意事項（各選抜共通）	2
5	入学手続きについて（各選抜共通）	2
6	その他	3
	推薦選抜詳細	4
	一般選抜詳細	6
	社会人特別選抜詳細	8
	二次入学者選抜詳細	10

大阪公立大学工業高等専門学校 専攻科入学案内

1	専攻科の設置	1	1
2	専攻および入学定員	1	1
3	修業年限および修了要件	1	1
4	教育理念・養成する人材像・専攻科達成目標	1	1
5	「総合工学システム」教育プログラム	1	2
6	教育課程	1	3
7	学士の学位取得方法	1	3
8	入学料および授業料等	1	4
9	教育支援制度	1	4
付表1	学習・教育目標と達成要件	1	5
付表2	一般科目および専門共通科目教育課程表	1	6
付表3	専門科目教育課程表	1	7

出願書類用紙

- 専攻科入学志願書（推薦選抜用・裏面あり）
- 専攻科入学志願書（一般選抜用・裏面あり）
- 専攻科入学志願書（社会人特別選抜用・裏面あり）
- 入学者選抜調査書
- 推薦書（推薦選抜用）
- 入学者選抜職務経歴書（社会人特別選抜用）

2023 年度 大阪公立大学工業高等専門学校 専攻科学生募集要項

1 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

◎求める人材像

(1) 興味・関心

- ものづくりへの目的意識が明確な人
- 選択したコースの専門工学分野に関心があり、その分野で学士の学位を取得したい人

(2) 資質・性格

- 何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神が旺盛な人
- 自分で計画を立てて、ものづくり学習に打ち込める人
- 異分野を含めた周囲の人達と協力してものづくりに取り組める人

(3) 能力

- しっかりとした基礎学力と専門的な知識・技術を持つ人
- 企業現場等学校外の学習の場でも積極的に活動でき、また社会的常識を備えた人

◎入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、「推薦選抜」、「一般選抜」、「社会人特別選抜」の3種類の方法で行います。それぞれの選抜で重視される項目は以下の通りです。

- 【推薦選抜】 ①専門工学分野に関心があり、基礎的な学力・知識・技術を持っていること
②基礎的な英語能力を持っていること
③何事にも積極的に活動でき、周囲の人達と協力できること

- 【一般選抜】 ①専門工学分野に関心があり、基礎的な学力・知識・技術を持っていること
②基礎的な英語能力を持っていること
③数学および専門工学科目が得意であること

- 【社会人特別選抜】 ①専門工学分野に関心があり基礎的な学力・知識・技術を持っていること
②基礎的な英語能力を持っていること
③実務経験があり、社会的常識を備えていること

2 募集定員

総合工学システム専攻 20名

3 選抜区分と選抜人数

入学者の選抜は、推薦選抜、一般選抜、社会人特別選抜の区分により、冊子表紙に示す日程で行ないます。なお、これら選抜の結果、募集定員に満たないときに二次入学者選抜を実施します。

選 抜 区 分	選 抜 人 数	詳 細
推 薦 選 抜	} 20 名程度	P4 ~ P5
一 般 選 抜		P6 ~ P7
社会人特別選抜	若 干 名	P8 ~ P9
二次入学者選抜	若 干 名	P10

選抜区分ごとの出願資格や詳しい選抜方法等は、詳細欄に示すページを参照してください。

4 出願に関する注意事項（各選抜共通）

- (1) 本専攻科の教育は JABEE の基準に対応する「総合工学システム」教育プログラムに基づいて実施され、本専攻科を修了するためには、同教育プログラムの修了要件を全て満たしている必要があります。本校出身者以外で出願しようとする者は、同教育プログラムに基づく学習に適することを判定する必要がありますので、必ず出願期間の2週間前までに本校に問い合わせてください。
- (2) 身体の障がいや病気、けが等の理由により、受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、出願期間の2週間前までに本校に問い合わせてください。
- (3) 出願書類を郵送で提出する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、宛先は本校学務課としてください。
- (4) 出願書類等に必要事項の未記入などの不備があるものは受理しません。
- (5) 2021年4月1日以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証の提出がないものは受理しません。ただし、大阪公立大学工業高等専門学校に在学中の者については、公式認定証の代わりに IP テストのスコアレポートを提出することができます。
- (6) 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (7) 出願書類提出後、住所等（郵便受取先・電話番号）を変更したときは、直ちに本校学務課に届け出てください。
- (8) 提出された書類については個人情報の保護に関する法律に基づき適正に取り扱うとともに、専攻科選抜以外の目的には使用しません。また、受理した出願書類および入学検定料は返還しません。

5 入学手続きについて（各選抜共通）

各選抜合格後、入学確約書を提出した者には2月下旬までに入学手続き書類とともに「入学料納付書」と「入学料納付確認書」を送付します。金融機関で入学料 84,600 円を所定の期日までに納付し、入学料納付証明書を貼付した入学料納付確認書を 2023 年 3 月 31 日（金）までに本校学務課へ提出してください。所定の期日までに入学手続きを完了しない者には、入学を許可しません。

6 その他

- (1) 受験に際しては、別添の払込取扱票により、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料 16,500 円を振り込んでください。
- (2) 募集要項等に関して不明な点は以下まで照会してください。

大阪公立大学工業高等専門学校 学務課

〒572-8572 寝屋川市幸町 26 番 12 号

○ 電話 (072) 821-6401 (代表) ○ FAX (072) 821-0134

○ ホームページ <https://www2.ct.osakafu-u.ac.jp/> (※2022年3月まで)

<https://www.ct.omu.ac.jp/> (※2022年4月から)

推薦選抜

1. 出願資格

次の各号のすべてに該当し、合格した場合、本校に確実に入学する意思がある者

- (1) 大阪公立大学工業高等専門学校を2023年3月卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校の第1学年から第4学年の全科目平均点^{注1}が80点以上の者ただし、高等学校等から高等専門学校に編入学した者については、第4学年の全科目平均点が80点以上の者
- (3) 2021年4月1日以降に実施されたTOEIC Listening & Reading Testの公式認定証（または、本校において実施されたIPテストのスコアレポート）のスコアが400点以上の者
- (4) 入学者受入方針（アドミッションポリシー）の「求める人材像」に合致し、人物・学力ともに優秀で、在籍するコースの主任が推薦した者

注1：合否判定科目、一般選択科目、芸術、基礎工学演習を除いた全科目について、単位重み付き平均により計算するものとします。また、未履修科目は0点として扱います。

2. 出願手続

(1) 出願期間

受付期間：2022年4月18日（月）～2022年4月20日（水）

受付時間：9時～16時（本校学務課）※持参により提出してください

(2) 提出書類等

① 入学志願書	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの ^{注2} 。また、本校所定の入学検定料の払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料16,500円を振込み、入学志願書裏面に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付すること。
② 推薦書	本校所定の用紙により、在籍するコース主任が作成し厳封したもの。
③ 調査書 (学業成績証明書)	本校所定の用紙により、本校の学校長が作成し厳封したもの。 ただし、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書および学業成績証明書も添付すること。
④ TOEICスコア	2021年4月1日以降に実施されたTOEIC Listening & Reading Testの公式認定証（または、本校において実施されたIPテストのスコアレポート）の原本 [*] およびコピー。 ※原本は願書受付時に確認後、返却します。

注2：合格とならなかった者のうち、あらかじめ入学志願書の「一般選抜による受験希望」欄を「あり」とした者は、一般選抜を受けることができます。この場合、新たな手続き（書類の再提出、入学検定料の再納付等）は一切必要ありません。なお、事情によりやむを得ず、一般選抜の受験を辞退・欠席する場合は、その旨を文章で学務課まで連絡してください。

3. 選考方法

推薦選抜は、調査書とTOEICスコアによる書類選考により行ないます。調査書成績（700点満点）とTOEICスコア成績（100点満点）の合計を総合成績（800点満点）として判定します。

4. 合格者発表

2022年5月12日（木）13時に、合格者の受験番号を学内に掲示します。なお、電話等による問い合わせには応じません。推薦選抜で合格となった者は、必ず本校専攻科に入学しなければなりません。

一般選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者（2023年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 短期大学を卒業した者（2023年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（2023年3月修了見込みの者を含む）のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、本校の学校長が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

(1) 出願期間

受付期間：2022年5月16日（月）～2022年5月18日（水）

受付時間：9時～16時（本校学務課）※郵送提出の場合は最終日17時必着のこと

(2) 提出書類等

① 入学志願書	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。また、本校所定の入学検定料の払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料16,500円を振込み、入学志願書裏面に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付すること。
② 調査書 (学業成績証明書)	本校所定の用紙により、出身（在籍）学校長が作成し厳封したもの ^{注1} 。 ただし、出願資格の（1）、（3）、（4）により出願する者はそれぞれ次による。 ・出願資格（1）により出願する者のうち、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書および学業成績証明書も添付すること。 ・出願資格（3）により出願する者は、次の証明書もあわせて提出すること。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したこと、または修了見込みであることの証明書 イ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・出願資格（4）により出願する者は、出願資格にかかわる最終学校の成績証明書をもって代える。
③ TOEICスコア	2021年4月1日以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証（または、本校において実施された IP テストのスコアレポート）の原本 [*] およびコピー。 ※原本は願書受付時に確認後、返却します。郵送で提出した場合は、試験当日の受付で返却します。

④ 受験票送付用 封筒(長形3号)	(出願書類を郵送により提出する場合のみ) 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し速達料金を含む 344 円切手を貼ること。
----------------------	---

注1：出願資格(1)以外により出願する者は、出願期間の2週間前までに、調査書に関連する必要書類について本校学務課に問い合わせてください。

3. 試験日時・場所

日時：2022年6月4日(土)

集合・受付 : 8時50分～9時10分
筆記試験(数学) : 9時30分～10時50分(80分)
面接試験 : 11時10分～

場所：大阪公立大学工業高等専門学校

4. 選考方法

一般選抜は、調査書、TOEICスコア、筆記試験(数学^{注2})、面接試験(口頭試問^{注3}を含む)による総合判定により行ないます。調査書成績(500点満点)、TOEICスコア成績(100点満点)、筆記試験成績(150点満点)、面接成績(250点満点)の合計を総合成績(1000点満点)とします。

注2：数学の筆記試験の出題範囲は、志望する各コース共通で「微積分(1変数、2変数、微分方程式を含む)、線形代数」です。過去問題(過去3年分)については、在籍する学校を通して本校学務課に請求してください(既卒の方も、卒業された学校等を通じて請求してください)。

注3：口頭試問とは、面接員が出題を口頭もしくは印刷物で行ない、受験者が口頭もしくはホワイトボード(黒板)等を用いて解答する試験です。出題範囲は、次に示すように受験者の志望するコースに関係する専門工学分野とし、専門工学分野に関わる外国語(英語)を出題内容に含む場合があります。

専攻コース	口頭試問の出題範囲
機械工学	熱力学、水力学、材料力学
電気電子工学	論理回路、電気回路、電子回路、電磁気学
応用化学	無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、化学工学、生物化学
土木工学	環境工学、土質力学、水理学、構造力学、土木計画学、土木材料学

5. 合格者発表・入学確約書の提出

2022年6月9日(木)13時に、合格者の受験番号を学内に掲示します。なお、電話等による問い合わせには応じません。

また、入学を確約できる者は、合格後、2022年10月28日(金)17時までに入学確約書(合格発表日に本校の学務課で用紙を配付)を提出してください(※郵送提出の場合は17時必着のこと)。期限までに提出がない場合、入学を辞退したものとして取り扱います。

6. 追加合格

入学手続き者が入学定員に満たなかった場合、追加合格をもって定員を補充することがあります。

社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、なおかつ企業等で技術系の実務経験が2年以上ある者（2023年3月末までに2年以上の実務経験が見込める者を含む）

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、本校の学校長が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1：社会人特別選抜で出願しようとする場合、出願資格について個別に審査する必要があるため、出願期間の2週間前までに、必ず本校学務課に問い合わせてください。

注2：入学後に就業を継続することの有無に関わらず出願することができます。なお、社会人特別選抜で入学した場合であっても、カリキュラムや開講時間帯等についての特別な配慮は行ないません。

2. 出願手続

(1) 出願期間

受付期間：2022年5月16日（月）～2022年5月18日（水）

受付時間：9時～16時（本校学務課）※郵送提出の場合は最終日17時必着のこと

提出書類等

① 入学志願書	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。また、本校所定の入学検定料の払込取扱票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行窓口で入学検定料16,500円を振込み、入学志願書裏面に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付すること。
② 調査書 (学業成績証明書)	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの ^{注3} 。 ただし、出願資格の(1)、(3)、(4)により出願する者はそれぞれ次による。 ・出願資格(1)により出願する者のうち、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書および学業成績証明書も添付すること。 ・出願資格(3)により出願する者は、次の証明書もあわせて提出すること。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことの証明書 イ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・出願資格(4)により出願する者は、出願資格にかかわる最終学校の成績証明書をもって代える。

③ TOEICスコア	2021年4月1日以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証の原本*とコピー。 ※原本は出願受付時に確認後、返却します。郵送で提出した場合は、試験当日の受付で返却します。
④ 職務経歴書	本校所定の用紙に必要な事項を記入したもの。
⑤ 受験票送付用封筒(長形3号)	(出願書類を郵送により提出する場合のみ) 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し速達料金を含む 344 円切手を貼ること。

注3：出願資格の(1)以外により出願する者は、出願期間の2週間前までに、調査書に関連する必要書類について本校学務課に問い合わせてください。

3. 試験日時・場所

日時：2022年6月4日(土)

集合・受付：8時50分～9時10分

面接試験：9時30分～

場所：大阪公立大学工業高等専門学校

4. 選抜方法

調査書、TOEICスコア、面接試験(口頭試問^{注4}を含む)、職務経歴書による総合判定により行ないます。調査書成績(300点満点)、TOEICスコア成績(100点満点)、面接成績(300点満点)、職務経歴書(300点満点)の合計を総合成績(1000点満点)とします。

注4：口頭試問とは、面接員が出題を口頭もしくは印刷物で行ない、受験者が口頭もしくはホワイトボード(黒板)等を用いて解答する試験です。出題範囲は、受験者の志望するコースに係る専門工学分野とし、専門工学分野に関わる外国語(英語)を出題内容に含む場合があります。

専攻コース	口頭試問の出題範囲
機械工学	熱力学、水力学、材料力学
電気電子工学	論理回路、電気回路、電子回路、電磁気学
応用化学	無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、化学工学、生物化学
土木工学	環境工学、土質力学、水理学、構造力学、土木計画学、土木材料学

5. 合格者発表・入学確約書および在職証明書の提出

2022年6月9日(木)13時に、合格者の受験番号を学内に掲示するとともに、受験者には書面(郵送)により可否を通知します。なお、電話等による問い合わせには応じません。また、合格通知を受けた者は、入学確約書(合格通知に同封)を2022年6月24日(金)17時までに提出してください(※郵送提出の場合は17時必着のこと)。期限までに提出がない場合、入学を辞退したものと取り扱います。

また、入学手続き時(2023年3月末)に、在職証明書(所属企業等の長が作成し、押印があり2年以上の在職期間が明記されているもの。様式自由)を提出してください。

6. 追加合格

入学手続きが入学定員に満たなかった場合、追加合格をもって定員を補充することがあります。

二次入学者選抜

二次入学者選抜は、推薦選抜、一般選抜、社会人特別選抜の結果、募集定員に満たないときのみ実施する場合があります。実施の有無は 2022 年 11 月中旬以降に、本校のホームページ上に掲載します。

1. 出願資格

一般選抜の出願資格と同じとします。

2. 選抜方法

調査書、TOEIC スコア、面接試験（口頭試問^{注1}を含む）による総合判定により行います。

注 1：口頭試問とは、面接員が出題を口頭もしくは印刷物で行ない、受験者が口頭もしくはホワイトボード（黒板）等を用いて解答する試験です。出題範囲は、受験者の志望するコースに関係する専門工学分野とし、専門工学分野に関わる外国語（英語）を出題内容に含む場合があります。

3. 試験日時・場所

日時：2023 年 3 月下旬を予定

場所：大阪公立大学工業高等専門学校

4. その他

詳細情報は、二次入学者選抜実施の有無とあわせてホームページ上に掲載します。なお、二次入学者選抜における提出書類は、一般選抜における提出書類と同じです。特に TOEIC スコアについては、2021 年 4 月 1 日以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証（または、本校において実施された IP テストのスコアレポート）の原本およびコピーの提出が必要です。

大阪公立大学工業高等専門学校 専攻科入学案内

1 専攻科の設置

2005年4月

2 専攻および入学定員

総合工学システム専攻 20名

3 修業年限および修了要件

(1) 修業年限 2年

(2) 修了要件

- 1 教育課程表で定められたすべての必修得科目を修得すること。
- 2 第1学年からの累計修得単位数が62単位以上を満たすこと。
- 3 学位(学士)を申請するに必要な科目を修得すること。
- 4 「総合工学システム」教育プログラムの修了要件(第1項は除く)を満たすこと。

4 教育理念・養成する人材像・専攻科達成目標

(1) 教育理念 「自律・実践・協調」

「自律」は、心身を鍛え、自らを律し、物事を多元的に理解できる幅広い視野と教養を基礎として、目下の課題を自覚し、それを達成するために、自ら考え、学び、行動できる自律性をもった人材を養成することを意味します。

「実践」は、学び考えたことを、積極的に行動にうつし、たとえ失敗してもその失敗を活かして、目的を達成するためのよりよい方法と結果をめざす、進取の気性と向上心をもった人材を養成することを意味します。

そして、「協調」は、社会や組織のなかで、自らの役割や責任を自覚し、異なる考えや立場をもった他者とも対話をもって共通理解をつくり、協力して取り組むことのできる社会性と、リーダーシップをもった人材を養成することを意味します。

これが、学習・生活・進路など、学校生活のあらゆる場面で本校教職員が共通に持つ教育方針であり、自律した人間たれ、チャレンジ精神旺盛に実践せよ、社会のなかでリーダーシップをもった人材たれという、学生諸君へのメッセージです。

(2) 養成する人材像

○ 機械工学コース

ものづくりをトータルに捉え、エネルギーや環境問題のような社会システムに対応できる開発・研究型機械技術者

○ 電気電子工学コース

情報化社会において活躍できる創造性豊かな開発・研究型電気電子技術者

○ 応用化学コース

ものづくりの根底を支え、環境に配慮しながら物質や生産プロセスを創造できる開発・研究型化学技術者

○ 土木工学コース

幅広い視野と深い専門知識を持ち、環境に配慮した都市を創造できる開発・研究型建設技術者

(3) 専攻科達成目標

専攻科の教育目標にしたがって、以下に示す (A) ~ (D) の資質・能力を身につけることが専攻科の学習達成目標である。

(A) 豊かな人間性と社会性

A-1 社会の仕組みについての知識を基礎として、技術と社会とのかかわりについて理解し、思考できる。

A-2 言語・文化の違いをふまえて物事を理解し、日本語による口頭・記述での論理的な表現力および英語によるコミュニケーション能力をもつ。

(B) 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力

B-1 数学や自然科学の知識を応用して基礎的な課題を解決することができる。

B-2 情報技術に関する知識をもち、事象を数理的にモデル化し解析やデータ処理ができる。

(C) ものづくりの基礎となる知識と技術の修得

C-1 専門知識と技術を身につける。

C-2 地球環境への影響や社会の要求に配慮できる。

(D) ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力

D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら、組織的に仕事を遂行できる。

D-2 ものづくりの課題を自ら理解・発見し、必要な知識を主体的に身につけながら、計画的に仕事を遂行できる。

総合工学システム専攻では、専攻科達成目標 (A) ~ (D) に対して最も強い関連をもつものに各教科を位置付けている。なお、2008 (平成 20) 年度から日本技術者教育認定機構 (JABEE) より大学と同等の技術者教育プログラムとして認定を受けた「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育到達目標と同じ内容になっており、本校専攻科を修了すれば達成される。

5 「総合工学システム」教育プログラム

(1) はじめに

大阪公立大学高専では、本科 4 年次から専攻科 2 年次までの 4 年間について、教育プログラム「総合工学システム」を設定している。この教育プログラムは、2008 (平成 20) 年度に日本技術者教育認定機構 (JABEE) の認定を受けたもので、国際化に対応した、4 年制大学卒と同等の技術者を保証するものである。

(2) 履修対象者

大阪公立大学高専の「総合工学システム」教育プログラムは、教育年限を本科 4 年次から専攻科 2 年次までの 4 年間と設定しており、本科を卒業した後、専攻科に入学した者が、JABEE 認定の本教育プログラムを履修することができる。

専攻科への入学資格は、「高等専門学校を卒業した者」と学則第 40 条に規定されている。したがって、専攻科への入学時期は本科卒業と連続的である必要はなく、例えば、本科卒業後に企業等での就労を経ている、本教育プログラムを履修することが可能である。

また、他高専等から本校専攻科に入学する学生については、その本科での履修科目については本校本科 4 年次、5 年次の科目との同等性を審査し、同等であれば本教育プログラムの単位として認定する。

(3) 「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育到達目標

専攻科達成目標の項を参照

(4) 「総合工学システム」教育プログラムの修了要件

本校における「総合工学システム」教育プログラムの修了者とは、以下にあげる1～6の要件をすべて満たした者とする。

- 1 学位（学士）を取得していること。
- 2 高等専門学校における本科4、5年もしくは、これに相当する教育機関で取得した単位数と専攻科1、2年で修得した単位数の合計が124単位以上であること。
- 3 専攻科における教育課程表で定められたすべての必修得科目を修得していること。
- 4 「学習・教育到達目標」の達成要件を満たしていること（付表1）。
- 5 基礎工学の知識・能力として、①設計・システム系科目群、②情報・論理系科目群、③材料・バイオ系科目群、④力学系科目群、⑤社会技術系科目群の各群から、少なくとも1科目、合計最低6科目を修得していること。
 - ①設計・システム系科目群
 - 総合工学システム ○工学システム計画
 - 工学システム設計演習Ⅰ ○工学システム設計演習Ⅱ
 - 工学システム実験実習
 - ②情報・論理系科目群
 - 計算力学 ○情報ネットワーク
 - ③材料・バイオ系科目群
 - 機能性材料 ○生物工学
 - ④力学系科目群
 - 解析力学 ○統計熱力学
 - ⑤社会技術系科目群
 - 知的所有権 ○リスクマネジメント
- 6 専門工学（総合工学システム）の知識・能力として、「総合工学システム」、「工学システム計画」、「工学システム設計演習Ⅰ」、「工学システム設計演習Ⅱ」、「工学システム実験実習」、「インターンシップ」、「工学基礎研究」、「工学特別研究」、「工学特別ゼミナールⅠ」、「工学特別ゼミナールⅡ」のすべての科目を修得していること。

6 教育課程

教育課程は、一般科目および専門科目で構成しており、さらに専門科目は専門共通科目と専門コース科目で構成している。詳しくは付表2および付表3を参照すること。

7 学士の学位取得方法

本校専攻科は「特例適用専攻科」として認定されている。本校専攻科を修了し、かつ、一定の要件を満たした者については、所定の手続きを行えば、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、コースに対応する専門分野の学士（工学）の学位を取得できる。

8 入学料および授業料等

- (1) 入学料 84,600 円
- (2) 授業料 年額 234,600 円 (2 期分納)
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (3) 諸費 年額 約 9,000 円 (2021 年度参考)
その他教科書代等 (別途通知) や、学位授与機構へ学位審査手数料 32,000 円 (2021 年度参考) の支払いがある。

9 教育支援制度

- (1) 国による高等教育の修学支援新制度等が実施されています。

本校は高等教育の修学支援新制度の対象機関です。

○文部科学省 Web サイト「高等教育の修学支援新制度」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

○独立行政法人日本学生支援機構 Web サイト「給付奨学金 (返済不要)」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

この国の制度に加えて、大阪府で追加の制度があります。

○大阪府 Web サイト「大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度について」
<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/musyoy/index.html>

- (2) 学業・人物ともに優れ、かつ学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人が申請した各種奨学金団体・機構での選考のうえ、一定額の資金が貸与または給付される制度があります。

付表1 学習・教育到達目標と達成要件

学習・教育到達目標	目標達成の要件
A 豊かな人間性と社会性	◎本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で修得した人文科学、社会科学等(語学教育を含む)に関する科目の総単位数が15単位以上であること。
A-1 社会の仕組みについての知識を基礎として、技術と社会とのかかわりについて理解し、思考できる。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で社会科学等に関する科目を修得していること。 ●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関で「技術者倫理」に関する科目を修得していること。 ●「技術と文化」を修得していること。
A-2 言語・文化の違いをふまえて物事を理解し、日本語による口頭・記述での論理的な表現力および英語によるコミュニケーション能力をもつ。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で人文科学(語学教育を含む)に関する科目を修得していること。 ●英語によるコミュニケーション能力については、 TOEIC400点以上 の能力を備えていること。「英語応用演習Ⅰ」と「英語応用演習Ⅱ」を修得していること。 ●日本語による表現力については、「インターンシップ」「工学特別研究」の成果発表を行っていること。
B 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力	◎本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で修得した数学、自然科学、情報技術に関する科目の総単位数が20単位以上であること。
B-1 数学や自然科学の知識を応用して基礎的な課題を解決することができる。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で数学、自然科学に関する科目を修得していること。
B-2 情報技術に関する知識をもち、事象を数理的にモデル化し解析やデータ処理ができる。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で情報技術に関する科目を修得していること。
C ものづくりの基礎となる知識と技術の修得	◎本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で修得した専門技術に関する科目の総単位数が44単位以上であること。
C-1 専門知識と技術を身につける。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で専門技術に関する科目を修得していること。
C-2 地球環境への影響や社会の要求に配慮できる。	●本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で環境技術に関する科目を修得していること。
D ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力	◎小項目(D-1,D-2)ごとに本科4・5年もしくはそれに相当する教育機関および専攻科で修得した科目があること。
D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら、組織的に仕事を遂行できる。	●「総合工学システム」、「工学システム計画」、「工学システム設計演習Ⅰ」、「工学システム設計演習Ⅱ」、「工学システム実験実習」、「インターンシップ」、「工学特別ゼミナールⅠ」、「工学特別ゼミナールⅡ」をすべて修得していること。
D-2 ものづくりの課題を自ら理解・発見し、必要な知識を主体的に身につけながら、計画的に仕事を遂行できる。	●「工学基礎研究」「工学特別研究」を修得していること。

付表2 一般科目および専門共通科目教育課程表

区分	科目名	単位数	学年配当		達成目標	
			1年	2年		
一般科目	必修	英語応用演習Ⅰ	2	2		A-2
		英語応用演習Ⅱ	2		2	A-2
		技術と文化	2		2	A-1
	選択	日本文学	2		2	A-2
	一般科目開設単位数		8	2	6	
	一般科目修得可能単位数		8	2	6	
専門共通科目	必修	総合工学システム	2		2	D-1
		工学システム計画	2	2		D-1
		工学システム設計演習Ⅰ	2	2		D-1
		工学システム設計演習Ⅱ	2		2	D-1
		工学システム実験実習	4		4	D-1
		インターンシップ	3	3		D-1
	選択	線形代数学	2	2		B-1
		応用解析学	2	2		B-1
		統計解析学	2	2		B-2
		計算力学	2	2		B-2
		情報ネットワーク	2	2		B-2
		機能性材料	2	2		C-2
		生物工学	2		2	C-2
		解析力学	2	2		B-1
		統計熱力学	2	2		B-1
		知的所有権	2		2	A-1
		リスクマネジメント	2		2	A-1
		応用電磁気学	2	2		B-1
		ユニバーサルデザイン	2		2	C-2
		専門共通科目開設単位数		41	25	16
専門共通科目取得可能単位数		41	25	16		

付表3 専門科目教育課程表

区分		科目名	単位数	学年配当		達成目標	
				1年	2年		
専門 コース科目	必修	専門	工学基礎研究	8	8		D-2
			工学特別研究	8		8	D-2
			工学特別ゼミナールⅠ	2	2		D-1
			工学特別ゼミナールⅡ	2		2	D-1
	選択	機械工学 コース	応用材料力学	2	2		C-1
			精密加工学	2		2	C-1
			設計工学	2		2	C-1
			応用流体力学	2	2		C-1
			熱物質輸送論	2	2		C-1
			応用制御工学	2	2		C-1
			ロボット制御	2		2	C-1
		電気電子工学 コース	応用センサー工学	2		2	C-1
			応用電子回路	2	2		C-1
			光物性工学	2	2		C-1
			応用情報工学	2	2		C-1
			応用制御工学	2	2		C-1
			信号処理	2		2	C-1
			生体情報工学	2		2	C-1
		応用化学 コース	環境分析化学	2		2	C-1
			応用無機化学	2	2		C-1
			理論有機化学	2	2		C-1
			応用有機化学	2	2		C-1
			応用物理化学	2	2		C-1
			化学反応論	2		2	C-1
		土木工学 コース	化学熱力学	2		2	C-1
	構造解析学		2	2		C-1	
	交通計画		2	2		C-1	
	応用振動論		2	2		C-1	
	都市地域計画		2	2		C-1	
	水環境工学		2		2	C-1	
	地盤工学		2		2	C-1	
	コンクリート構造学	2		2	C-1		
	専門科目開設単位数			76	42	34	
機械工学		取得可能単位数	34	18	16		
電気電子工学			34	18	16		
応用化学			34	18	16		
土木工学			34	18	16		

